

(陳受R1 第11号) 「生涯現役社会」を実現するシルバー人材センターの決意と支援の要望	
受理年月日	令和元年9月2日
陳情者	公益社団法人光市シルバー人材センター 理事長 藤井 文孝
陳 情 の 要 旨	
<p>少子高齢化が進む中、地域の日常生活に密着した就業機会の提供や高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を実行するため、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性は、一層高まっております。</p> <p>こうした中、シルバー人材センターでは、「第2次会員100万人達成計画」を策定し（令和2年度までに80万人）、令和6年までに会員100万人を目指し、会員増加への取り組みを強めるとともに下記の4点の事業に努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>① 介護予防・日常生活支援総合事業などの要支高齢者に対する事業 ② 放課後児童クラブの担い手などの子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業 ③ 人手不足の地元企業に向けたシルバー派遣等の事業 ④ 空き家管理、遊休地を活用した農園事業などの事業</p> <p>つきましては、令和2年度のシルバー人材センター事業の推進のために、国と同額以上の補助金の確保や公共からの事業発注の確保について強く要望いたします。</p>	